



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 亀田製菓株式会社

コード番号 2220 URL www.kamedaseika.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 C00 (氏名) 高木 政紀

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 CFO 兼 管理本部長 (氏名) 小林 章 TEL 025-382-2111

四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	22,222	△4.6	699	△44.0	1,480	△27.1	797	△41.7
2023年3月期第1四半期	23,287	17.9	1,248	102.9	2,029	184.8	1,367	239.8

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,782百万円 (△40.3%) 2023年3月期第1四半期 2,986百万円 (251.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	37.85	-
2023年3月期第1四半期	64.87	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	110,990	68,862	59.1	3,113.58
2023年3月期	111,182	67,996	58.3	3,076.11

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 65,645百万円 2023年3月期 64,855百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	15.00	-	40.00	55.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	15.00	-	41.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	46,000	△0.0	1,100	△35.0	1,700	△43.1	900	△51.8	42.69
通期	97,500	2.6	4,500	26.2	5,800	11.2	3,300	74.3	156.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	22,318,650株	2023年3月期	22,318,650株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,235,111株	2023年3月期	1,234,981株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	21,083,603株	2023年3月期1Q	21,083,675株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は2023年8月10日（木）に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、地政学的リスクの影響を抱える中、新型コロナウイルスの5類移行を受けて社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復傾向が見られました。

一方で、原材料価格やエネルギーコストの高止まりや、今後想定される金融引締めに伴う影響懸念等もあって、先行き不透明感は払拭されていません。

食品業界においては、こうした経済環境が収益の下押し要因となり、厳しい舵取りを強いられました。

当グループは、予てより食品業界を取り巻く環境変化を踏まえ、“美味しく からだに良いものを選び、食べ、楽しむ、健やかなライフスタイルへの貢献”を示す“Better For You”の観点からお客様価値を提供し、長期ビジョン「グローバル・フード・カンパニー」の実現を通じて持続的な成長と企業価値向上に取り組んでいます。2030年度には“あられ、おせんべいの製菓業”から“Better For Youの食品業”へと進化することを目指しています。

国内米菓事業、海外事業、食品事業の三本柱でしっかりと立ち、特徴あるグローバル企業としてビジョンの実現を目指すとともに、お客様の行動様式の変化や地政学的リスクの高まりなど環境変化に対して中長期視点で構造改革を実行し、持続的な成長と企業価値の向上をより確かなものとするために取り組んでいます。

2023年度は、多様化する社会のニーズに応え、社会課題の解決に資する商品開発などを通じた“新たな価値創造”と、それを支える経営基盤の再構築に取り組んでいます。

国内米菓事業については、外出型消費が回復する中であって、需要は底堅く推移しています。当社は、前年同四半期における同業他社代替需要の反動減は見られるものの、これまでの価格競争から商品の独自性を高めた価値訴求型の競争戦略へと転換を図ることで、業績確保に取り組んでいます。

具体的には、「亀田の柿の種」「ハッピーターン」「亀田のつまみ種」「無限」シリーズを重点4ブランドに定め新商品の発売や各種プロモーションによる需要促進、若年層獲得に向けた顧客接点作りを通じたブランド価値の深化に加え、新価値商品の発売を通じた領域の拡張などブランド価値の進化と商品価値の進化の両輪で取り組みを進めています。また、商品戦略に連動した生産能力増強に取り組むほか、販売面では米菓カテゴリーの価値向上に歩調を合わせる形で、適正価格販売や販売促進費用の効率化に取り組んでいます。

これらの取り組みの結果、重点4ブランドの売上高については「無限」シリーズが前年同四半期を上回り、「亀田の柿の種」「ハッピーターン」「亀田のつまみ種」は前年同四半期を下回りました。

一方で、百貨店向け商品や土産物用商品を製造販売するグループ会社は、新型コロナウイルスの5類移行による市場回復効果もあり増収となりましたが、単体米菓事業の減収を補えず、国内米菓事業全体の売上高は前年同四半期を下回りました。

海外事業については、北米ではMary's Gone Crackers, Inc. が生産活動の立て直し、供給体制の正常化による事業基盤の回復に取り組むとともに、値上げの実行等、収益改善に向けて取り組んでいます。アジアでは、カンボジアのLYLY KAMEDA CO., LTD. はクロスボーダー取引の拡大、ベトナムのTHIEN HA KAMEDA, JSC. は堅調な国内需要に加えクロスボーダー取引の拡大も寄与し、海外事業全体の売上高は前年同四半期を上回りました。

食品事業については、アレルゲン28品目不使用の米粉パンは、機能性に加え米粉ならではの品質を訴求することで取り扱いの拡大に取り組んでいます。また、植物性乳酸菌については、機能性を訴求し差別化を図ることで販路拡大に取り組むとともに、ライセンス契約先を通じた欧米への販売を見据えており、更なる拡大を目指しています。

長期保存食については企業備蓄が買い替え需要により堅調に推移する一方で、前年同四半期に地震等の影響で高まった個人による消費の反動減の影響を受けました。これらの結果、売上高は前年同四半期を下回りました。

以上の結果、売上高は22,222百万円（前年同四半期比4.6%減）となりました。

営業利益については、単体米菓事業において重点4ブランドの強化に向けたセールスプロモーション活動、生産能力増強に取り組むとともに、商品の絞り込みや外部生産委託の活用など生産効率の向上に継続的に取り組みましたが、前年同四半期の同業他社代替需要による増益の反動減を吸収しきれませんでした。また、百貨店向け商品や土産物用商品を製造販売するグループ会社は、新型コロナウイルスの5類移行による市場回復効果もあり増益となりましたが、単体米菓事業の減益により、国内米菓事業全体では前年同四半期比で減益となりました。

海外事業については、Mary's Gone Crackers, Inc.においてオペレーションの正常化など黒字化に向けた取り組みを図っています。また、LYLY KAMEDA CO., LTD.のOEM商品の需要増による増収効果および、THIEN HA KAMEDA, JSC.において国内販売に加えクロスボーダー取引が拡大した結果、アジア地域の営業利益は着実に拡大しました。これらの結果、海外事業全体では前年同四半期より損失が縮小しました。

食品事業については、植物性乳酸菌ならびに米粉パンの販路拡大に取り組んだものの、長期保存食の個人消費の反動減影響を補えず、前年同四半期比で減益となりました。

これらの取り組みの結果、営業利益は699百万円（前年同四半期比44.0%減）となりました。

また、円安に伴う一時的な為替差益が発生しましたが、営業減益に加え持分法適用関連会社であるTH FOODS, INC.の持分法による投資利益が減少した結果、経常利益については1,480百万円（前年同四半期比27.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益については797百万円（前年同四半期比41.7%減）となりました。

[補足情報]

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	対前年同四半期比	
			増減額	増減率
売上高	23,287	22,222	△1,064	△4.6%
国内米菓事業	17,002	16,084	△918	△5.4%
海外事業 ※1	3,204	3,374	170	5.3%
食品事業 ※2	1,491	1,118	△372	△25.0%
その他(貨物運送等) ※3	1,588	1,645	57	3.6%
営業利益	1,248	699	△549	△44.0%
営業利益率	5.4%	3.1%		
国内米菓事業	1,323	938	△384	△29.1%
海外事業 ※1	△201	△113	88	—
食品事業 ※2	30	△184	△214	—
その他(貨物運送等) ※3	96	58	△37	△39.2%

※1 海外事業は、海外子会社に加え、国内の輸出入取引を含んでおります。

※2 食品事業の主な内容は、長期保存食や植物性乳酸菌に加え、米粉パンやプラントベースドフード等であります。

※3 その他の主な内容は、貨物運送等であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は30,124百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,142百万円の減少となりました。これは主に「現金及び預金」が916百万円、「商品及び製品」が482百万円、「その他」が199百万円それぞれ増加した一方、「受取手形、売掛金及び契約資産」が2,940百万円減少したことによるものであります。固定資産は80,865百万円となり、前連結会計年度末に比べ949百万円の増加となりました。これは主に「機械装置及び運搬具」が337百万円、「投資有価証券」が590百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は110,990百万円となり、前連結会計年度末に比べ192百万円の減少となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は25,349百万円となり、前連結会計年度末に比べ372百万円の減少となりました。これは主に「短期借入金」が812百万円、「賞与引当金」が765百万円それぞれ増加した一方、「支払手形及び買掛金」が329百万円、「その他」が1,676百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は16,777百万円となり、前連結会計年度末に比べ685百万円の減少となりました。これは主に「長期借入金」が632百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は42,127百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,058百万円の減少となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は68,862百万円となり、前連結会計年度末に比べ865百万円の増加となりました。これは主に「親会社株主に帰属する四半期純利益」797百万円および「剰余金の配当」843百万円により「利益剰余金」が45百万円減少したことや、「その他有価証券評価差額金」が118百万円、「為替換算調整勘定」が730百万円、「非支配株主持分」が76百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は59.1%（前連結会計年度末は58.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2023年5月10日に公表した業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,275	9,191
受取手形、売掛金及び契約資産	13,654	10,714
商品及び製品	2,791	3,273
仕掛品	791	921
原材料及び貯蔵品	3,874	3,948
その他	1,899	2,098
貸倒引当金	△20	△22
流動資産合計	31,266	30,124
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,188	18,110
機械装置及び運搬具（純額）	21,275	21,613
その他（純額）	12,516	12,498
有形固定資産合計	51,981	52,222
無形固定資産		
のれん	2,125	2,197
顧客関係資産	887	888
商標資産	795	798
技術資産	493	495
その他	1,080	1,066
無形固定資産合計	5,382	5,446
投資その他の資産		
投資有価証券	14,941	15,532
その他	7,654	7,709
貸倒引当金	△44	△44
投資その他の資産合計	22,551	23,197
固定資産合計	79,915	80,865
資産合計	111,182	110,990

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,571	4,241
電子記録債務	2,910	3,024
短期借入金	7,034	7,847
未払法人税等	498	474
賞与引当金	1,455	2,221
役員賞与引当金	64	30
資産除去債務	67	68
その他	9,119	7,442
流動負債合計	25,722	25,349
固定負債		
長期借入金	13,470	12,837
退職給付に係る負債	539	555
資産除去債務	282	286
その他	3,170	3,098
固定負債合計	17,462	16,777
負債合計	43,185	42,127
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,946	1,946
資本剰余金	170	170
利益剰余金	59,163	59,118
自己株式	△1,901	△1,902
株主資本合計	59,378	59,332
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	665	784
繰延ヘッジ損益	1	1
為替換算調整勘定	4,443	5,173
退職給付に係る調整累計額	366	353
その他の包括利益累計額合計	5,477	6,312
非支配株主持分	3,141	3,217
純資産合計	67,996	68,862
負債純資産合計	111,182	110,990

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	23,287	22,222
売上原価	16,835	16,405
売上総利益	6,451	5,816
販売費及び一般管理費	5,202	5,117
営業利益	1,248	699
営業外収益		
受取利息	17	36
受取配当金	24	26
持分法による投資利益	169	—
為替差益	556	684
その他	29	72
営業外収益合計	797	820
営業外費用		
支払利息	8	23
持分法による投資損失	—	5
その他	7	10
営業外費用合計	16	39
経常利益	2,029	1,480
特別損失		
固定資産処分損	22	29
特別損失合計	22	29
税金等調整前四半期純利益	2,006	1,450
法人税、住民税及び事業税	846	468
法人税等調整額	△240	99
法人税等合計	605	568
四半期純利益	1,401	881
非支配株主に帰属する四半期純利益	33	83
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,367	797

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,401	881
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△60	118
繰延ヘッジ損益	9	△0
為替換算調整勘定	431	△250
退職給付に係る調整額	△38	△12
持分法適用会社に対する持分相当額	1,244	1,046
その他の包括利益合計	1,585	900
四半期包括利益	2,986	1,782
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,795	1,633
非支配株主に係る四半期包括利益	191	148

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	国内 米菓	海外	食品	計				
売上高								
顧客との契約か ら生じる収益	17,002	3,204	1,491	21,698	1,588	23,287	—	23,287
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	17,002	3,204	1,491	21,698	1,588	23,287	—	23,287
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2	359	11	373	1,495	1,868	△1,868	—
計	17,005	3,563	1,502	22,071	3,084	25,155	△1,868	23,287
セグメント利益 又は損失(△)	1,323	△201	30	1,152	86	1,238	10	1,248

(注) 1. 「その他」には、貨物運送等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額10百万円は、セグメント間取引消去10百万円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	国内 米菓	海外	食品	計				
売上高								
顧客との契約か ら生じる収益	16,084	3,374	1,118	20,576	1,645	22,222	—	22,222
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	16,084	3,374	1,118	20,576	1,645	22,222	—	22,222
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1	351	5	358	1,354	1,712	△1,712	—
計	16,085	3,725	1,124	20,934	3,000	23,935	△1,712	22,222
セグメント利益 又は損失(△)	938	△113	△184	641	56	697	2	699

(注) 1. 「その他」には、貨物運送等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額2百万円は、セグメント間取引消去2百万円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。